

## 平成 31 年産水稻の作柄について

### (生育状況)

本年産の水稻は、田植え（最盛期5/29）以降、初期生育は順調であったが、7月上中旬が低温・日照不足で推移したことから、出穂期（最盛期8/10）は平年に比べ2日遅くなった。出穂期以降は、収穫期に台風等の影響が一部見られたものの気温・日照ともにおおむね順調に推移し、登熟・作況指数ともに「平年並み」となった。

(作況指数 99 12月10日公表)

### (被害の発生状況)

山梨県のほぼ全域で、台風の影響による風水害が発生した。7月下旬の降雨等により常発地を中心に穂いもち病が発生した。また防護ネット等の対策を講じたものの、山間地を中心に、イノシシやシカ等による食害・踏み倒しの被害が発生した。一部の地域では、カメムシにより不稔等の被害が発生した。このほか、一部地域で鳥害が発生したものの、被害は軽微であった。

災害名	被害戸数(戸)	被害面積(a)	地域名
獣害	110	1,267.4	身延、富沢、白州、武川、大月等の山間部
風水害	33	1,114.9	県内全域
病害	13	354.3	甲府、六郷、敷島、富士吉田、都留
虫害	6	47.4	都留、大月
鳥害	5	28.7	富沢、富士吉田、西桂等
合計	167	2,812.7	